

吹くとひょいとこちらを向いて、私の眼と眼が合つてにらめっこ！向こうがスタスタと逃げてゆきましたが、この光景をスーさんがシャッターを切ったのですが1枚も写っておらずガックリ！スーさん手が振るえて、あらぬところを撮ったとか。2度目のカムチャツカでの釣りの挑戦は昨年のロシア友好訪問でのこと。4日目の8月17日、朝霧のかかったアバチャ湾での1日クルーズで外航船に乗って出航、波はそんなに高くなかったのですが横ゆれが続いて12名のうち半数以上が船酔いでダウン。下の船底でもだえておりましたが、我がハマちゃん、スーさん早速釣り糸をたれて60cmのでっかいカサゴやメヌケを15, 6匹釣り上げベーリング海を大いに楽しんだのですが、この高級魚のカサゴを皆で夕食でスープかで味わってもらおうとホテルの調理場へ持って行って頼んだのですが一。ロシアではこのような魚は料理しないとのことで断られてしまい実に残念！まあこれからはロシアやモンゴル、いずこに行っても釣りのない国は行かないことにしているハマちゃんスーさんですが、もっとも行って見たいのが小笠原諸島の大型釣りです。三条クラブにはどれくらい釣りキチがおります。その名前は長谷川有美君ご存知の方も多いかと思いますが、小笠原諸島の父島、母島で約20年間カンパチ、モロコ、コブ鯛？など1m以上のデッカイ魚をどっさり釣るんです。

昨年、一昨年と私のクラブのアベちゃんが同行して釣って来て、写真の大型物を食べたんですが、モロコの鍋はクエと同じで最高級品でたつぷりと味わいました。

私も70歳、果たして、母島へゆけるか、もっとハワイや南の島でカジカやマグロを釣るかどうかわかりませんが、今年も皆んで楽しくデッカイ真鯛をめざして猪突猛進で挑戦してゆきます。皆さんもいかがですか！

国際ロータリー・ニュースより 2007年2月1日

ロータリーがその奉仕の第二世紀に成功するためには、ロータリー財団は将来起こり得るいかなる変化にも備えなければならない、とルイス・ピセンテ・ジアイ管理委員長はサンディエゴで行われた 2007年度国際協議会 で話しました。さらに、「将来に向けて財団の力を蓄えることが私たち全員の責務です。(中略)ロータリー財団を世界中で最も優れた財団(にしましょう)」と訴えかけました。

ジアイ管理委員長によると、将来に向けて力を蓄えるということは、財団がスピードとシンプルさでロータリアンを支援することができるようにするという事です。同時に財団は、援助が必要とされている時にいつでも支援できるよう柔軟な姿勢を保たなければなりません。

管理委員長は、ロータリー財団の未来の夢委員会の委員長を務めています。未来の夢委員会は、積極的に問題の解決に取り組むこと、地区レベルのプロジェクトの運営にロータリアンをもっと参加させること、また成長するための計画づくりを推奨します。

ジアイ管理委員長は次のように話しています。「今後25年間に、世代から世代へと資金が引き継がれ、300兆ドル余りの持ち主が交代することになります。これらの資金の相当な部分がさまざまな財団や慈善活動、教会、非営利団体などに寄付されるでしょう。私たちの財団は、さらなる寄付を受けるために、明確で積極的な方針を備えなければなりません」

また管理委員長は、財団は効果的に資金を使はなくてはならないことを強調しています。「私たちのこの時代が、未曾有のニーズと未曾有の期待に満ちたものであり、世界を変えるために私たちが必要とするものは、ロータリーの掌中にあります」

未来の夢委員会は、目標を設定するために、専門家の助言を受け、2万人のロータリアンに対して調査を行いました。そして、研究から導かれた結果を基に、短期、中期、長期の方策を含む未来の夢計画が作成されました。

2005年に活動を開始した同委員会は、その計画を4月の規定審議会に提出します。また同委員会は、2009年までにその活動を完了する予定となっています

例会日 2007.2.13 累計No.977 当年No.30



三条北ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2560地区ガバナー 中條耕二

会長 小林 満
幹事 本間重満
SAA 米山キクエ

例会日：火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX 34-8114

事務局：三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内 TEL 35-7160 FAX 050-3437-660

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行 事：新春卓話「釣りの話し」

R I 第2560地区第4分区アシスタントガバナー桑原寛治様（加茂RC）

出 席：本日の出席 64名中43名

先々週の出席率：64名中56名 87.05%（前年同期85.00%）

【1月の出席状況：会員数64名 例会数3回 平均出席率84.75%（前年同月81.91%）】

先週のメイクアップ：2月8日燕RCへ 中條耕二さん、高橋彰雄さん、佐藤義英さん

ゲスト：R I 第2560地区第4分区アシスタントガバナー桑原寛治様（加茂RC）

会長挨拶：小林 満会長



本日は加茂クラブから「カン様」こと桑原寛治 AG が卓話においてくださいました。

どうぞ宜しくお願い致します。

ちょうど1年前の2月に加茂の割烹「山重」で桑原 AG と初めてお逢いしました。

その日は大雪でしたが、桑原 AG の主催で第4分区の会長幹事会が催されたのです。

爾来、ロシア友好訪問、IM そしてガバナー公式訪問と大変なるご指導を賜りました。

心から厚く御礼申します。

青柳康博会員のお嬢さんが結婚されます。結婚披露宴は18日の日曜におゝ乃さんでめでたく披露されます。誠にめでとうございす。

皆さん、この3連休はいかがお過ごしでしたか？

私は1.5会の新年会で岩室の「ゆもとや」に行つてまいりました。1.5会とは燕工業高校の1期生11名で40年前に結成された会で、どう言う訳か年令も出身校も違う私も40年前からメンバーの一人です。

そんななか三条市内で主婦が心中を図るべく義母を刺身包丁で刺殺したとのニュースです。殺された義母（83才）は寝たきりの状態で要介護度は最も高い「5」だったが、施設には入所できず、十日に一回程度、市内の介護福祉施設のデイサービスをうけており、容疑者の主婦（55才）が「食事や飲み物、おむつ交換」などを一人でやっておったようです。自分自身も平成14年ころから、うつ病で市内の病院に入院したこともあり、最近では月1回ほど通院して投薬治療を受けていたということです。

なぜ施設に入所も憚らなかつたのか、行政も含めてこのような家庭を何とかならなかつたものか疑問を感じざるを得ません。

私は容疑者の主婦にも同情の余地は充分あると考えます。彼女の減刑嘆願書にサインします。会員の皆さんとご家族、社員のみなさんからもご理解を頂き、嘆願書にサインしてくださるようお願い致します。

幹事報告：本間（重）幹事

・地区米山奨学委員長より 奨学期間修了者の歓送会のご案内

日時 2007年3月4日（日）11:00～

- 会場 餞心亭 おゝ乃
 ・高田ローターアクトクラブより 35周年記念式典のご案内
 日時 平成19年4月8日(日) 10:00～
 会場 デュオセレッソ(上越)
 ・渡辺ガバナーエレクトより 公式訪問日程(案)のお願い
 三条北RCは7/10(火)でお願いします。

ニコニコボックス: 13日現在累計871,000円

桑原 寛治君(加茂RC) 昨年は中條ガバナーを始め三条北クラブの皆さんからいろいろとご指導いただきありがとうございました。今日は私のつまらない卓話ですが宜しく願い致します。

小林 満君 桑原AGようこそ北クラブへおいでくださいました。大大大歓迎です。卓話よろしくお願い致します。

本間 重満君 //

米山キクエ君 //

中條 耕二君 第4分区AG桑原寛治様ようこそおいで下さいました。今年度ロータリーの戦友としてご活躍に心から感謝と御礼を申し上げます。

斎藤 正君 AGとして大変ご苦勞をおかけしている桑原さんからロータリーを離れた表題での卓話楽しみにしています。

石川 勝行君 桑原さん、本日はどうぞ宜しくご指導お願い申し上げます。

阿部 勝子君 桑原様今日の卓話宜しくお願い致します。

星野 義男君 桑原寛治様の卓話楽しみに。感謝して!!

青木 省一君 BOXに協力。

山崎 勲君 //

大橋 政雄君 //

横田加代子君 //

卓話: 新春卓話「釣りの話し」RI第2560地区第4分区アシスタントガバナー桑原寛治様



皆さん、こんにちは!!

昨年の犬年は第四分区のAGをおおせつかり、ロータリーについていろんなことを学び、大勢の分区内のロータリアンと出会い、ふれあい、又お盆にはロシアのカムチャツカまで行ったりで楽しく想い出の多いワンだふるな一年でした。

これも我等が中條ガバナーのお陰と心より感謝し、又ガバナーを支えていただいた斉藤地区幹事をはじめ、スタッフの方々、それに三条北ロータリークラブの心を1つにしたご協力の賜とAGとしてまずもって厚く、深く感謝申し上げます。

特に57番目の最後の中條ガバナーの公式訪問のお伴で昨年12月21日北クラブさんの家族パーティにお招き頂き誠に有り難うございました。

で、その時小林会長さんにちらっと「事前訪問しないでスミマセン。その代わりと言っては何ですが2月に卓話にでもお伺いしましょうか」と言っちゃた事が今日のこの時になってしまったわけです。

何を話するといっても「ロータリーについての話」なんてことはガバナーや地区幹事の前ではとても恐れ多くて出来るもんではなし、そこでハッと考えたのが21日の家族パーティでロシアの民族衣装をつけてサーモンを釣ったことを思い出しまして、じゃ“釣りの話”をしようという事にしたわけです。で、ちょっとおことわりしておきますが、昨年秋頃から咳が止まらなくて医者に診てもらったところ“せき喘息”という病名を頂きました。もし話しをしているうちに咳込んだり、倒れたりしましたら宜しくご容赦くださいますようお願いいたします。こんなことを昨年初、見附クラブの事前訪問で申し上げましたら、隣におりました会長がすかさず「桑原AGご心配ありません。会員の中にはお医者さん、お坊さん、葬儀屋さんもありますのでご安心下さい」と言われました。まあ倒れずに済みましたが。あとで名簿を見たのですが、確かに会員の中にはお医者さんには歯医者さんではございますが、お坊様は幹事が西蓮寺の住職さんで、葬儀屋さんもお坊さんにもおりました。

松本葬祭やさんでは、は〜んと納得しましたが。。。。。

北クラブさんはお医者さんに坊さんに葬儀屋さんは揃っておりませんよね。まあ倒れることはないと思いますが。(加茂クラブでは今年になって葬儀屋さんの副社長の奥さんが入会しまして、医者と天理教ですが坊さんも揃っております)

さて、釣りの話しですが、加茂クラブには4年前の平成15年9月に「釣りクラブ」を作りまして、今会員は女性1名を含め10名で、年3、4回みんな寺泊から遊漁船で海釣りを楽しんでいます。私が何故か釣りバカ日記に出てくるハマちゃんて涌井建設の社長がスーさん、あとは玉ちゃん、コーちゃん、マーちゃんなどなどで楽しく呼び合っております。寺泊港には約15隻の遊漁船があつて私共はもっぱらベテランのマーちゃんの馴染みの「早川丸」。でどちらかと言うと若い元気のよい「船頭」、と言わないで「船長」と呼んでいます。大体寺泊沖や出雲崎や角田の沖での岩場やテトラを沈めた漁礁で釣ります。勿論ねらいは真鯛です。真鯛は昔から芽出たい魚で七福神の恵比寿様が抱いている日本の昔から最高の魚ですし、刺身によし、酒蒸し、煮物、吸い物、かぶと蒸して最高の魚です。効能も肝臓病予防、血液浄化、中性脂肪低下などでお陰様でタイを釣って食べている私はこんなにスマートなんです?

昨年の初夏6月末、朝11時0分に出て夕方5時で終了、帰港するのですが、この日船長に「ロスタイムを5分お願い」と頼んで1分過ぎました時、グーッ、グーッと強い当たりがあり、ハリスを切らないよう、切れないよう慎重にゆるめてはたぐり寄せの繰り返してようやく真鯛の魚影が見えて、タモで釣り上げたらなんと60cmの見事な真鯛、これで今日の竿頭!と隣の涌井スーさんのやわらかい竿がグーッと、約3分のやりとりの末釣り上げたのがなんと約64cmの大きい奴、これでハマちゃんの竿頭が吹っ飛んだ一っ!並べて分かったことは私の釣ったのが赤みの多いきれいなメスの鯛で、スーさんのはちょっとドス黒いオスの鯛、つまり夫婦で泳いでいたところメスの方がエサを喰い引っ張られ、これを見たオスがメスを助けようと思い喰いついたんでしょうが。たまにオスメスが一緒に釣れることもあるそうで、この夫婦愛に感謝しつつおいしく食べて供養した次第です。

タイの他にもでっかいアジやイナダ、サワラ、太刀魚など様々の五目釣りですが何故か昨年の私の竿だけにフグがかりましてこれがトラフグに負けない約40cm位の立派なもの、これを3回、2匹、1匹、2匹と合計5匹釣り上げましたが、これは鯛に負けない位おいしく、フグチリ、カラ揚げ、フグ鍋などもうたまらないですね。

我が釣りクラブとともに「釣った魚を食べる会」もあるんです。酒屋の親父が会長で、会員の料理屋さんで釣った魚をすぐ調理してもらい、会長の持参した酒で豪快に食べるんですね。その時先程言った竿頭の表彰を行います。このタイガースの絆纏にその時の竿頭が書き入れられ皆で記念撮影などで祝ってあげるんです。何故、阪神の絆纏なのかと申しますと「鯛ガース」ですから。又、お互いに帰りの船の中でひねりだした川柳を披露しあうんです。例えば

- ・七福神 鯛も踊って 大漁船
- ・初めての 大鯛かかりて 手も震え
- ・秋真鯛 なんや釣れるは となりだけ
- ・エンジンも ジャズの音色や 大漁船
- ・釣り談義 話すたびに 型が増え
- ・釣れぬ日は アメヨコ鮮魚 チラチラと
- ・夕日背に 今日也大漁の 釣りクラブ

ともかくその日の午後に釣ったばかりの魚を食べ川柳をお互いに交換し、食べ、笑いの楽しいひとときです。

さて、ロシア、カムチャツカでの釣りですが、そもそも私共のカムチャツカゆきのキッカケは単純でして、ご存知のように加茂は春になりますと雪椿祭りをやっており、私も副実行委員長としてミス雪椿のコンテストを約25年やっております。従いまして女性を見る眼は大分肥えているんです。その眼にかなったのが平成17年の第39回のミスコンに新潟経営大学に留学していたロシアの美女が見事ミス雪椿3人の1人に選ばれました。名前はスヴェトラナ、すぐに親父さんがお祝いにかけつけ、パーティの席上で“是非カムチャツカにいらっしやい”ということから“じゃサケでも釣りに行こうか”となり私、ハマちゃん、涌井スーさんそして金澤リクちゃん他会長の細井さんと大橋君の5人で行くことになったわけです。さて、雄大なカムチャツカの大きい河でビッグサーモンをねらって竿を入れました。約1時間誰も1匹も釣れずに、昼飯を食べて今度は大きなゴムボートで川下りでの投げ釣り、何度投げ入れても手応えなし、やっとなスーさん3匹、ハマちゃん1匹、30cm位なもの。ガイドによるとサケの遡上が終わったあとで時期が悪かったとか。突然約15m先の岸辺にノソっと2m位の巨大なヒグマが現れビックリ!ガイドがピーっと鋭い口笛を